

津久見市の小児医療・小児保健の向上を目指して

こどもの病気対策法⑩④

―夜間のこどもの嘔吐―

中津市民病院 副院長 是 松 聖 悟

子どものいるご家庭に配布してきた、こどもの急病対応のフローチャートの改訂をしています。今回は「夜間のこどもの嘔吐」です。

「吐く」といつても咳き込んで吐くことがありますので、まずはその区別をして、咳はしていないけど吐く場合はこのフローチャートをご活用ください。「すやすや眠れる」や「活気がある」であれば慌てる必要はありませんが、「ぐったり」して動けない場合はこども救急電話相談（#8000）に問い合わせてください。

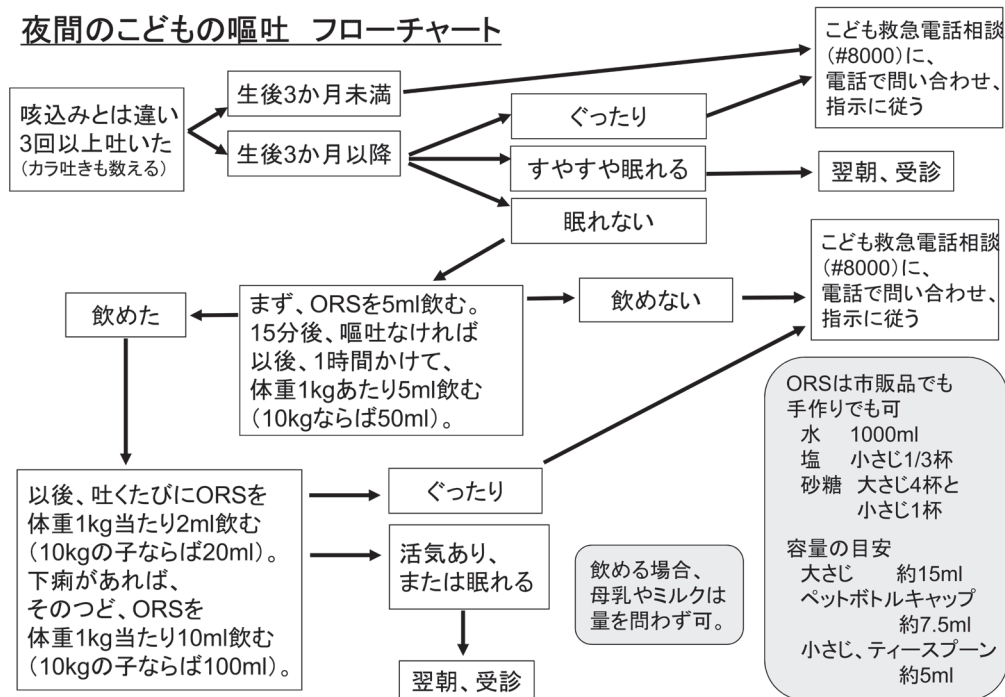
「ぐったり」ではないが、「眠れない」場合は、水分補給しましょう。ここで経口補水液（ORS）が必要となります。市販されていますが、急な場合は図に記載しているように水と砂糖と塩を使って自宅で作成できます。そして記載通りに少しずつ飲んでみてください。容量を計れるものがない場合は大さじ、小さじやペットボトルキャップ、ティースプーンを使いましょう。図に容量の目安を記載しています。飲める場合は母乳やミルクでも構いません。ただし、一気に飲むのではなく、少しずつ、何度も飲んでください。ただし、スポーツドリンクは塩分が少なく、糖分が多いため、お腹が悪いときの水分補給にはお勧めできません。

そうしているうちに、「眠れる」ことができれば翌朝まで待つてのクリニックや病院受診で構いません。「ぐったり」の場合は#8000に問い合わせてください。

食べられるようになれば、米、パン、うどん、豆腐、脂肪の少ない肉や魚、ヨーグルト、バナナ、すりおろしリンゴ、野菜など、消化の良いものを食べさせてください。絶食にするよりも、お腹に負担のない食品を食べたほうが早く良くなります。

お腹以外にも「吐く」病気はありますが、「ぐったり」の場合は救急受診を相談する。「眠れる」場合は翌朝でも大丈夫のことが多いです。もちろん個人差はありますので、心配の場合は#8000に問い合わせてください。

夜間のこどもの嘔吐 フローチャート



合は救急受診を相談する。「眠れる」場合は翌朝でも大丈夫のことが多いです。もちろん個人差はありますので、心配の場合は#8000に問い合わせてください。

